

編集発行 備前探訪の会 内 備前探訪通信社
〒721 福山市西深津町4-2-7 電話 0849(21)3940
連絡所 電話 0849(21)3940 神谷和孝方
" (53)6157 田口義之方

備前探訪通信

備前探訪の会事務局(神谷和孝方内)
〒721 福山市西深津町4-2-7 電話 0849(21)3940
古墳研究部会 電話 0849(41)2049 山口方
城郭研究部会 " (53)6157 田口方
歴史民俗研究部会 " (24)6593 鎌田方

歴史民族研究会一行来福 安田氏の異説に熱気

第20回歴史談話会

去り月20日、歴史民族研究会
在東京へと向けて第20回歴史
談話会(市民会館)は無事盛大に行
なわれた。参加者は談話会始
て以来の40余名を数え、「消
されれた古代を探る」東国に大王
あり」と題する安田利雄氏(歴史
民族研究会の情熱あふれる講演に
古代のロマンを十分た人のうし
たひと時であった。

このたびの歴史民族研究会の
一行は8名で前日夕刻新幹線で
来福・宿舎のキャッスルホテル
で休息ののち歓迎会の会場(養老
の郷)へ、神谷会長以下13名の本
会員と酒をくみがわしながら
3時間にわたって交流を深めた。
翌日は午後の談話会迄の時間を

利用して藤田、山口両氏の車に
分乗、神辺平野周辺の主要古墳
を見学した。山口氏の車が途中
で行方不明になるというハプニ
ングはあるものの、尾市古墳
山の神古墳などでは「関東では
めったにあ目立かない古墳」
表幹事の関根真明氏は「今回の
企画をきっかけにして中央と地
方という制約にとらわれず益々
交流を深めて行きたい」と語
り、今後の交流への意欲をみせ
させていた。

一行は8日夕方の新幹線で帰
ったが開会にあたって同会代
金の運び、神谷会長以下13名の本
会員と酒をくみがわしながら
3時間にわたって交流を深めた。
翌日は午後の談話会迄の時間を

第21回歴史談話会のお知らせ

備前探訪ツアーリポート

始末記

備前探訪ツアーリポート

ワ月22日朝8時、32名の参加
者の中型バスに乗車、一路岡山
県備前市を目指した。今回の担
当は神谷会長、久し振りの大役
にやゝ緊張した面持。道を井原
矢掛にとり周辺の風景を愛でな
がら東へ、田口氏の下す案内
に一同閉口した頃バスの左窓の
内側でどうなることかと思つた
多かったことが日につく。又、
マガテークだけに女性の参加が
ら福山へ。6時10分着、解散。
同行記者の感想としてはテー
マがテークだけに女性の参加が
多かつたことが目につく。又、
往復、6時間もバスにゆられる
わけはどうなることかと思つた
が全く退屈させない素晴らしい
一日であった。会長(田口義之)
○問い合わせ先
○参加自由
TEL 0849(21)3940
神谷和孝方

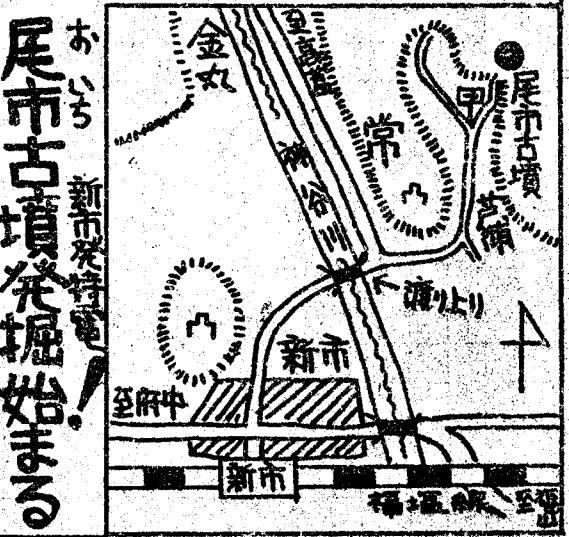
第17回古墳講座 古墳研究部会主催 8月18日(土) 10時30分~12時30分 新市町教育委員会

○参加自由 無料(但し新市町教委
員会の会員の方)

高めの声は聞き取りにくい、
いうことで前座は退場、神谷会
長の登場である。この頃バスは
岡山市内に突入、500m進む
のに30分を要すというスローモー^{モード}に普段なら乗客の顔つ
きに変化が見られるところであ
るが車内は水を打つたよう静
まりかえり会長の備前焼の話し
に聞き入っている。さすが近大
附高の恩童共にきたえられただ
けあって会長の話術の腕は相当
なものである。11時20分、バス
は閑谷学校へ、青葉につつまれ
た国宝の建物群は我々に無言の
氣したが開会にあたって同会代
表幹事の関根真明氏は「今回の
企画をきっかけにして中央と地
方といふ制約にとらわれず益々
交流を深めて行きたい」と語
り、今後の交流への意欲をみせ
させていた。

一行は8日夕方の新幹線で帰
ったが開会にあたって同会代
金の運び、神谷会長以下13名の本
会員と酒をくみがわしながら
3時間にわたって交流を深めた。
翌日は午後の談話会迄の時間を

利用して藤田、山口両氏の車に
分乗、神辺平野周辺の主要古墳
を見学した。山口氏の車が途中
で行方不明になるというハプニ
ングはあるものの、尾市古墳
山の神古墳などでは「関東では
めったにあ目立かない古墳」
表幹事の関根真明氏は「今回の
企画をきっかけにして中央と地
方といふ制約にとらわれず益々
交流を深めて行きたい」と語
り、今後の交流への意欲をみせ
させていた。



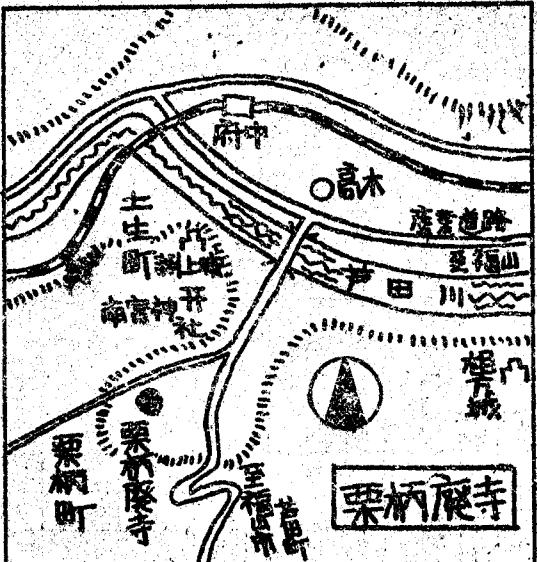
山城志。備陽中央訪の金良中野文書集 NO.1
えんじょうし
発刊準備中

「タイブ印刷にしたら直ぐ売れてがなれ人のう」と編集者を悩ませた本会部会棧閣謹「山城志」の発刊準備が進んでいる。すでに原稿は綿め切り、去る7月17日印刷屋に廻したとのこと。予定では8月中旬迄に校正を終え、次の談話会へ8月26日には披露するという内容は佐藤一夫氏の「福山市加茂町の一古墳出土資料について」と題する報告書を始めとして、常連の田口義之氏「龜寿山城宮氏について」、武島種一氏「続二子山城物語」、末森清司氏「三原史跡めぐり」の各力作、さらに県北郷土

史界の若手第一人者と目される著
新選太郎氏の投稿「県北の山城」
を加えてが奈リ充実したものにな
リテラである。『今日は常遠の高
田、七森兩氏の古代山城論が欠け
たゝめ原稿を集めるのに四苦八苦
した(編纂者)』といふが出来上
るのが楽しみである。本あ、予価
は今回から口絵写真入り、表紙々
質向上といふことで若干値上げ。
一般700円、会員600円で販

○此ノヨリ後ノ事也。此ノ事也。

○場所　國立福山書院の家和室
○テーマ「貴族政治とその文化」
○参加自由・無料。



測量器具購入
古賀調査スター

10月例会は朝へ10月例会は本
日14日(日)“新”
をテーマに福山市鞆町の史跡を探
訪するこゝに決定した。担当者は「
女性を主な対象にしたい」と口々にい
う。

23回歴史談話会は映画鑑賞
本会は「アーティコネクション」（自
主上映会）との申し合せにより23回
「歴史談話会」を映画上映会とすること
に決定した。期日は10月7日(日)場
所は市民会館で大映京都作品『新平
家物語』（／30・溝口健二監督）を

○○○場所
テス「貴族政治とその文化」
参加自由。無料。
福山サントークカルチャーセンタ
1月は9月2日午後1時30分不リ福
津忠夫氏（大阪大学文学部教授）
を招いて講演会を開催する。テ
マは「平家物語の世界」。無料。
たゞ定員があるので申し込み必
要。本会は10月に映画「新平家物
語」の観賞会計画してあり「事前
学者として良いのではレく会長は
言へて」いる。申し込みは神谷和哉
へテクニ福山市西深津町ワニク
丁口1084912113940
へ電話がハガキで8月15日迄。

栗柄廢寺發掘始まる

府中市教育委員会は7月30日が
8月11日迄の予定で府中市栗柄
町に所在する古代寺院址“栗柄廢
寺”的発掘調査を行なう。同寺址は
江戸時代までは国分尼寺址にあ
てらめていたが出土瓦の年代が少
し古いこと、判明、現在では”な
どの寺址“と呼ばれている。

当面、古墳研究部会専用になり
もうであるが、城郭研究部会でも使
用を検討中とのことである。なま
古墳研究部会は去る月3日第一回
目の古墳実地調査を行なつてお
り、今後これらの器具の導入により、
更にレベルアップした調査を進め
たい（山口氏謹）」と情熱をもたら
している。

本会は以前から懸念に在つて、
た土地測量器具（レベル・平板測
量用具一式）を7月24日購入した。
これらは古墳や城跡の調査
には必要不可欠なもので、これを備
えることにより本会も単なる「中
愛好団体から在野の研究者集団」
へ脱皮したわけである。

二二

第一泊の運行は、午後六時半に内閣へ向かって会員の皆様へおもてなしした。午後九時半から十二時まで、午後二時から四時までの運行である。

黑牡丹

昭和五九年 盛夏

備陽文探訪の会々長
同 神谷和孝
副会長

田口義之